愛國婦人

毎月五日二十日發行
一部三錢五厘　壹ヶ月七錢　半年分四拾貳錢　全國無郵送料
廣告料一行六十錢
本號全部禁轉載
東京麹町區（牛ヶ淵公園）
發行所　愛國婦人會發行所
印刷兼發行人　山澤俊夫
編輯人　永持德一

學問と隱德

愛國婦人會理事
東京高等女學校長　棚橋絢子

世の中の人の心は種々様々とは申し乍ら、往々學問は唯事を知る爲に成すものだと誤解し、道理を辨へる爲に學ぶ者である事を忘却して居る人を見受けます。

知り様にも種類は在りますが、人は唯書を讀んで其中に述べられた事柄を知りました丈では、未だ學問を致したとは申されず、今一歩を進めて其の學んだ智識を實際社會上に應用して參り、世の中の種々の道理を悟るやうになりまして、爰に始めて學問の誠の價値は現はるゝものだと存じます。

學校生活を仕て來た女子の中には口はなか〳〵利巧であつても、少しも物の役に立たぬと云ふ噂は久しいもので在りますが、之れは前述の誤解に陷つた爲に生じた弊害でありまして、極限無く深遠なる學問の淵を、僅に高等女學校や師範校位を卒業し多少の書籍を讀んだ位で、已に窺ひ透したやうな氣位に成り、而も讀んだばかりで之れを實際社會上の複雑なる出來事に應用して參る心懸けが在りませんので、斯の如き嘆ずべき惡評を受けなければならぬ事に立ち至るのでありますが、其責任の一部分は慥かに教育に從事しまする人の罪であると考へて居ますので、自分はせめて自分の學校からなりとも斯のやうな性質の生徒を、尠くしたいものだと熱望努力して居ります。

併し女子には學問は入要で無い、家庭で教育すれば夫れで澤山、學校に入學るのは惡い等と一口に申しますのは、亦一を知つて十を忘れた詞であります、成程足學校の門を踏まず、眼に一丁の文字なく、いろはすら書けませんでも、隨分と役に立つ女もあり、又獨り學校で學ぶばかりが學問で無く、眼に世の中の種々雑多の事柄を見ますのも、耳に經驗ある人から種々の話を聞くのも、皆是れ學問に相違は在りませんが、唯斯のやうな學問ばかりでは、其の智識が如何にも偏狹に傾き易くして、其の人の頭腦が粗雑で、常識が淺薄で在りますから、社會上の千種萬態に出逢ひましても夫れを充分に了解し得まして宜しきに導いて行く事が至難で在ります。されば女子の學問を嫌ふなど申す事は羮に懲りて膾を吹くの類にて淺薄なる説でありまして實際圓滿な缺點の無い常識を享有し、所謂間に逢ふ人を作るには、如何しても學問をさせ、汎く古を溫ねて、新しきを知らしむる事が必要で在りますが、學問する人は之れを知つたと謂ふ斗りに止めず、一歩を進めて良く物事の道理を辨へ、智能を實際上に應用して參りますのが眞の學問を致したと申もので、斯の如くに心懸て居ましたらば、やれ女學校出の女は役に立たぬとか、生意氣とかの惡評も次第に雲散致す事と存じます。呉々も學問と云ふのは、唯事を知る爲に學ぶもので無くて、謂はゞ行ふ爲に學ぶ者で在る事を忘却しないやうに致したい者で在ります。

又自分の希望と致しましては、高等女學校等で普通教育を卒へた婦人に、進んで其一生の一大事業として、生涯を通じ、精神上、道義上の道理を理解す可き書籍を一日に一頁でも半頁でも讀ませたいのであります。現今の婦人方に隱德が行はれず、相卒ひて滔々と虛榮の淵に陷り、名譽心に搦まれまして、智識者の嘲罵を受けますのも、一に此の用意が無く學問が不充分で在るからの事で、誠に嘆かはしい次第で在ります。

抑も隱德を行ひますには、決して虛榮の影を伴ふ可きもので無い、虛榮は往々自己の名譽心の爲めに人の子を傷ひ、引ひては社會に害毒を及ぼす事に立至りますもので實に恐るべきであります。が此虛榮心は兎角學識の深遠ならざるより生ずる病と思ひます、併し獨り虛榮心のみではない名譽心を伴ひませず、全く善意に出でました行爲ですらも、自分親らは慈悲慈善の行爲で在り、社會を稗益すべき事業で在ると信じて居ましても、書を讀まず、正しく慈善の何たるかを理解して居りません人の行爲には往々社會に有害となる事が在ります。讀むべきものは書物、養ふべきものは精神でありまして此の二つがなくては兎ても充分なる行は出來ませぬ彼の不幸なる啞兒に同情を寄せ、獻身啞兒の爲めに努力奮闘し、遂に、電話機を發明したと云ふ、英國の紳士アレキサンダー、グラハム、ベルの傳記を御覽なさい彼人の如きは眞に隱德の何たるを知り、慈悲の何たるを覺つて居ます る人で、其の爲めに獨り英國内に限らず、全世界の人から彼に捧げられたる賞賛と尊敬とは實に莫大なものでありますが、これが誠の名譽と申すもので御座りましやう。

要するに名譽と謂ふものは、自ら求めて得らる可きもので無く、德在れば必らず隣ありで、自分が社會に隱德を積み、世の中に善根を施しさへすれば、必らず求めずして來るもので在ります。

誰れも名譽は欲しきものに相違ありませぬが學問が足らず、良く世の中の道理を理解せぬ人達は、徒らに名譽心に搦まれて事の成るは成るときに成るのでないから、面白く苦勞し、自然の變化に從つて働き進んで時を待うといふ心懸け無く追日來る可き名譽を迎ふる丈の準備をも爲さず、一氣呵成に名譽が欲しい、位置が得たいと焦心致しますので、適々得ても却て社會の嫉惡を受け、長く其の位置、名譽を保ち得ず、若し又不幸にして其の志を得ぬ時には、快々として樂ます、遂には悲觀し、厭世し、甚だしきは自暴自棄となり、結局自ら我が一身を亡すやうな悲劇に陷る事があります。恐る可く、戒む可き事であります。

王朗川の「言行彙纂」の中に、

婦人未レ嘗讀レ書明レ理。性情多有二僻處一。
不レ孝二敬舅姑丈夫一。却誦レ經禮レ佛。
不レ周二濟骨肉姻親一。却布二施僧道一。
不レ享二現世和平之福一。却望二來生渺茫富貴一。
此誠女流中之下愚者、
噫豈有下驕悍毒惡。而長享二富貴一。德性賢良。而墮二落輪廻一者上哉。

と在りますが、是ぞ誠に好箴戒と信じます。

伊勢大神宮内裏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日蓮上人の格言

子爵　小笠原長生氏談

日蓮上人の「遺文錄」と云ふ者の中に「兄弟抄」と云ふのがある。其中に女子トナル事ハ物ニ隨ヒテ物ヲ隨フル身ナリ」と云ふ詞があるが奈何にも意味深長で味ふべき詞だと思ふのである。

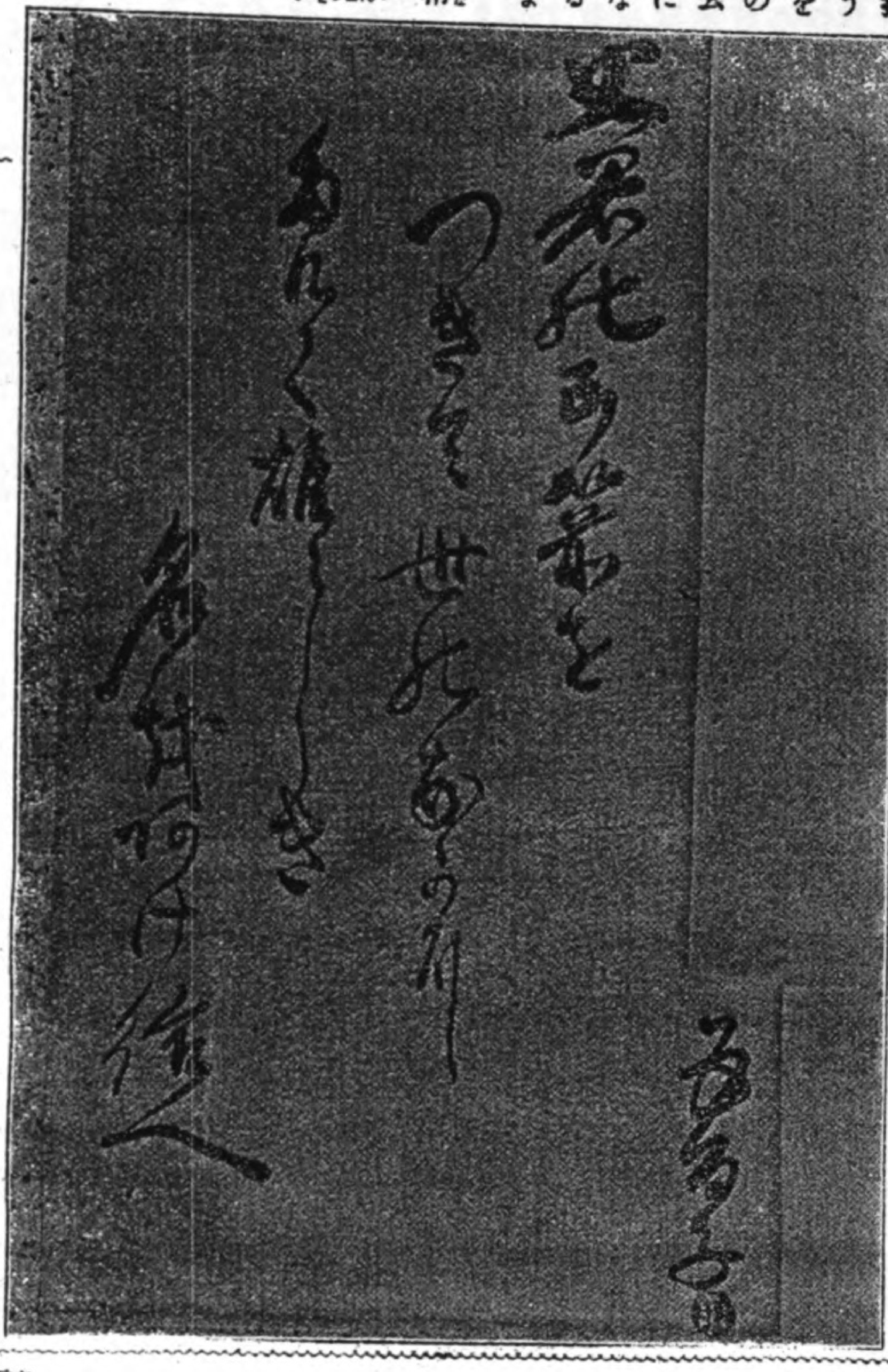
物に隨ふと云ふのは柔和だとか、忍辱だとか、慈悲だとか、同情だとか云ふ、婦人の美德を指したものではないであらうか、何處までも此等の美德を涵養して行つたならば、其の他に及ぼす結果(宗教的に云へば敎化の力)が偉大なるに至ると、斯う云つたのではないであらうか、實に意味ある詞だと自分は思ふのであります。

奥村氏が愛國と云ふ事を稱え初めてから、丁度滿十年になるが、奥村氏の如きは一見すると中々物に隨ふと云ふ事はないやうに見ゆれど、深く交際して見ると、物に隨ひて物を隨ふると云ふ點が充分あつたと思はるゝ、夫れが又成功したる所以ではなかろうかと思ふのである。

一例を擧ぐると、或る時の事でしたが、自分の兼て信じて居る或る紳士が病氣に罹つた、すると私は其事を知らなかつたが奥村女史が來られて、其人の病氣の事を告げて、其人は實に國家の爲めに大切な人で在る何うか治したいものだと云ふて、遂に泣き出したのである。自分も非常に驚き百方慰めて、ヤツト淚を止めさせたのであるが、斯の如きは正しく柔和、慈悲と云ふ事の觀念の深いのであつて、斯ういふのを指して物に隨ふと云ふのではあるまいかと思ふ。けれども物に隨ふからとて、直に自分の意志を枉げて他に隨ふのではなく、何處までも同情して、而して後云ふべき事を云ひ、行ふべき事を行ふ點が確に奥村女史に在りたりと思ふが、何分にも往々此點を知らない人も在ろうかと思ふ、奥村氏が唯見た所のやうな分子ばかりであつたなら、決して成功は爲れなかつたらうと思ふて居る。

如何にも日蓮上人の一語の意味の深ひのに感じて、此の話をするのである。

「矢の走るは弓の力、雲の行く事は龍の力、男の仕業は女の力」
「男は柱の如く、女は桁の如し、柱倒れなば桁地に墜ちなん」　(日蓮遺文錄)
「慈悲、仁讓、志意、和雅にして能く菩提を見る」　(法華經提婆品)



新古今集の春の歌

文學士　馮　夷　生

萬葉集を讀んでから古今集を繙いて見ると恰も太古の深林から、花咲き鳥歌ふ村落に出たやうな氣持がする。更に新古今集を手にすれば百花繚亂として咲きみだれてゐる野原に出たやうな心持である。一は雄渾、一は優麗、一は纎巧、いづれにも一長一短はあるが、敍情に於いて萬葉の天眞流露と古今の委曲とをすぐれたりとし、敍景に於いては新古今の婉麗無比なるを推さねばならぬ。今新春の季節なるに應じて、その初卷に現れた秀歌五六首を拔いて評釋して見やう。

夕月夜しほみち來らし、難波江の蘆の若葉をこゆる白波。　藤原秀能

夕月夜は舊曆の朔より五六日頃まで、夕方に月西の空にのこりて光まだうす暗き頃の月夜をいふ。難波江は蘆の名所。さて一首の意は夕月夜のうす暗い頃、難波江の蘆の若葉の上を白波のこえて行くのがほの白く見える、多分滿潮がよせて來たのであらうとたゞそれだけである。眼前の景色をありのまゝに飾らず歌ひ出して、しかも景色が髣髴として眼の前に動いてるやうな氣持がする。

奈古の海の霞のまよりながむれば入日をあらふ沖つ白浪。　後德大寺左大臣

奈古海は越中、沖つ白浪は沖の白浪の意。一首の意は、奈古の海には夕霞が横はつてゐる、その霞の絶間から遠く沖合を眺めると、夕日が今に沈まうとしてゐるのを、沖の白浪がこれを洗うてゐるといふのである。夕日の波に半ば沈んでゐる樣を指して入日を浪が洗うてゐると見たのは奇想天外である。誠にこの歌は「洗ふ」の一語で生きたといつてもさしつかへない。こゝらあたりが新古今時代の歌人の最も得意とする所である。難をいへばこの歌の上の句は蛇足の觀がある。上の句はよしんばなくてもこの歌の價値はさまで減じやうとは思はれぬ。唯三十一文字になさんが爲めに下の句の御附合に出された如く見える。もしこの上の句がぬきさしのならぬやうな、一層重要な位置を占めてゐるならば、恐らくこの歌の價値は倍加せられたであらう。

霞立つすゑの松山ほの〲と波にはなるゝ横雲の空。　藤原家隆朝臣

ほの〲とは一語にて上の語と下の語とに別々にかけて見ねばならぬ。一首の意、見上ぐれば霞立て罩めたる末の松山はほの〲とうす暗く見え、海邊の方を見渡せば横雲の空がほの〲と水平線から離れるのが見えるとの意。明方の山と海との景色を三十一文字の中に縮めて、しかもこれを各々別々に樣かはりてよみ出したるは、當時の名人定家卿と並び稱へられた家隆卿でなくてはと思はれる。

春の夜の夢の浮橋とだえして峰に別るゝ横雲の空。　藤原定家朝臣

夢の浮橋は夢を浮橋に譬へていふ。とだえしては絶ゆること、即ち夢のさめたことをいつたのである。下の句は夢のさめた時の眼前の景色をよんだのである。一首の意。春の夜の夢忽然として覺め來りおぼえず眼をあげて東の空を見れば横雲峰に別れむとして、夜は今しも明けつゝあるとの意である。定家の歌は思を凝し、推敲に推敲を重ねて讀んだ歌である。だから駄作が少い。しかしまた神韻漂渺といふやうな趣に乏しい。字面の極めてうつくしい割合に深い印象を與へかねる。この歌なども、夢の浮橋とだえしての一句いひまはし方がなる程うまいはうまいかもしれぬが一寸見たばかりでは何をいつたのかと考へさせる。考へさせないまでも、まはりくどいいひ方だと思はせる。おなじ奇想でも、入日を洗ふの一句の直ちに人の肺腑に入るのとはちがふ。この歌定家にありては、否新古今集全體を通じても秀歌の部に入るべきものであるが、惜むらくは上述の缺點があると思ふ。

春風の霞吹き解く絶え間より亂れてなびく青柳のいと。　殷富門院大輔

春霞一面に立てこめたるを、習々たる春の風渡つてこれを吹き解けば、その切目から、綠烟けぶる靑柳の絲のなびくが見えるといふのが一首の意である。あまりに巧みすぎて稍實景に遠いとの難もあらうが、現に角この歌眼と手と共に非凡の人でなくてはむづかしい。眼をつぶつて一誦すれば繪のやうなうつくしい景色があり〱と眼の前に浮んで來るやうな心地がする。百人一首の「朝ぼらけ宇治の川霧たえ〲にあらはれわたる瀬々のあじろ木」と同巧異曲、まさり劣りのない敍景詩の秀逸といはなければならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

神路の山風

上

池邊義象

指折り數ふれば早くも六十餘日の後、即ち去年の十一月の初つかた、式年御遷宮大祭濟んで程經たころ伊勢神宮に參拜した、その折は菊紅葉の色を爭ひ、空も澄み水もすみ人の心もすむといふ最上の旅行日和で、實に心神を清々せしめた、時は未だ京都に家して居たから、連れは孰れも同地在住のそれ〳〵で老いたる若き打まじつて十五六人、尤も過半は學生であつた。

　余は今から殆ど三十年以前はヤンチヤ盛りの書生として、伊勢神宮敎院の學校に居つたものである、後東京の人となつてから、五六度は參宮もしたが、こゝに來る度ごとに第二の故郷のやうな心ちがするのは、靑年時代の印象のいかに深かつたかをしるべきである、即ち今度もその心がむら〳〵と雲のごとく起つて、はや宮川、はや宇治といふ聲の耳にひゞくと、赤福の餅や、御祓町の様子が目に見えて戀しい、

　我々の學んだ校舍は今はすたれて神宮奉齋會の本部となつて、僅に三十年前のおもかげを留めて居るのは、松の木に古井戸、さては講堂の甍の一部分である、しかし學校は神宮皇學館と形をかへて、今では內務省所管の立派な校舍になつてをる。

　さても神苑會の事業一たび成て後といふものは、兩宮の一の大鳥居前、即ち普通の入口ともいふべきあたりは、大した變りやうである、夫までは宇治橋を渡つて大鳥居の前までも、御祓町ひし〳〵と立並んで、例の伊勢土産を賣る家ばかり參詣人と見ると、殆どその袖を引き手を取り頬を脊めんばかりに近づき、おかけやす、およりやす、お買ひなされの詈り合ひ、丁度凱旋時代の市中の萬歲の聲のごとく神路山をも震動させるやうであり、中には化粧のものなどもまじつて、盛に客を引いたものである、又宇治橋の下には大網袋を竿の先につけて、手に手に之を捧げたものが、十人も二十人も居つて客に錢を乞うたものだ、だから橋の袂には兩替の露店があつて、參詣人はこれにかへつゝ面白半分に此網袋の中へ志を投じたものであつた、丁度相の山のお杉お玉が三味線ひきながら錢を貰ふと同じ仕掛であつた、伊勢乞食などの詞はこんな處から起つたわけでもあるまいが、何だか人に侮られるもの丶第一となつて居つたのは、今の印度洋航海中彼のコロンボ邊で黑ン坊の潮くゞりに錢貨を投じやると同じやうな見えであつた。

　處が今度參詣して見ると、そんな汚らはしい煩はしいものは、影も容もない、宇治橋以內は神苑となつて松柏疊石芝生心よく栽ゑなし並べおかれ、しかも日淸日露の大捷の分捕品の大小砲さへおかれてあるのは、まづ心きよく氣丈夫になる。丁度折も折とて、紅葉のあかき菊の淸きなども打かをりて、一層信仰の念を深からしめた又宇治橋外も町廣々と新に擴張せられ、家並も立派になり、加之こゝと外宮との五十町が間の御成道の新開はいかにも感服にたへぬ、幅は十間もあらうが、人道車馬道を區劃して人道には煉瓦を用ひ、紅葉櫻をうゑなしたるなどは將來の春秋おもひやられる、蓋しこの新道の立派さ加減は東京に求めてもその類少からう、これが出來たからもはや古市町などの猥りがはしい處に足を入れずして兩宮間を往來することを得るやうになつたは何よりもめでたい。

　また別に兩宮間及二見浦に往來する新式の電車があつて五十町が間を三十分內で走る、その輕快言ふやうもない、こんなわけだから從つて旅館などの當世風なるもの續々出來、宇治山田町の面目は二三十年前と全くその趣を異にした、就中最も目新しいのは相の山の上倉田山といふ處に徵古館をおこしたことである、その建築その庭園どうしても西洋に居るやうな感じがある、故きを溫ぬる神宮のほとりにかゝるハイカラなものがあるのは新きを知らするわけであらうが、わるくいへば洋服に足駄、茶室に電燈といふあんばいで、調和を缺くやうであるが實は大御代の益〻發展する現象のこゝにもあらはれたもので余輩は大に贊成する、たゞ陳列品が飽き足らぬ心ちがするのは當局も定めて同感であらう。これは年を待たねばなるまい、

　そも〳〵かやうに神宮が御盛大に赴かせられ、諸般の事の整ひゆくといふは、言ふまでもなく是れ祖是れ宗、尊きこと二つなき大神の鎭座したまふに本づくことであるが、西行が「忝じけなさに淚こぼるゝ」といつたやうに、御鳥居をくゞつて大前にぬかづく時は誰も言ふにいはれぬ感が起るであらう。

　こゝにいさゝか神宮の御事を申して見やう、かしこけれども天照大神即ち大ひるめむちのみことは、その御父母の二神が、大昔に國土山川を經營あそばしそれ〳〵の神々をも御生みなされて後、何ぞ天下の主たるものを生まざらんやとて御生みあそばした大神である、この大神は光華明彩にして六合を照臨すといふ、大威德おはしまして、直に高天原の大君とならせられた、此御孫の君が即ち天孫瓊々杵尊で、この尊に對せられて、日本國主宰の命を下させたまひ、その御別れの時に賜ふたのが三種の神器で、これについて同殿共床の詔といふのが我が國孝道の起元である、それはいかなる譯かと申すと、大神は寶鏡を天孫に授けられて「今別れたならばまた逢ふことも成るまい、就てはこの鏡を常に座右に置いて齋ひ敬ひたまへ」と仰せられた、即ち天孫はこの御鏡を朝夕御覽あそばすごとに御自分の御影かうつる、その御影がやがて大神の御遺影との御感じが起る、そこでこの御鏡を御まつりあそばすは、取も直さす御祖先を御崇敬御追慕あそばすわけであつて、これを孝道の本とするのである、孝をいふことは決して孔子や何かから敎へられて初て知つたわけでない、人情の自然の敎へであつてこれに付いたる御敎訓は、この時に定まつて居る、この孝をおしひろげれば、即ち忠となるから、日本は忠孝一本の敎へである、我が國を祖先敎國などいふはこのわけで、一旦でも祖先を構はぬといふことになつては、日本の國體が無いことになる、忠孝も地を拂ふことになる、大神の御敎の深遠なることを思ひ奉らねばならぬ。

　この時また大神は天孫に詔して「寶祚の隆えんことは天壤と窮りなかるべし」と仰せられた、これを天壤無窮の神勅と申すのである、この御旨は、日本國を治めてゆかば、その皇位は動くことなく變ることなく、天地と共に究りが無いであらうとのことで、なんと大きな思ひ切つた仰せごとではあるまいか、實に積極的な宣言である、少しもこせつかずびく〳〵で消極的でないのがありがたい、例へば人民を治めることが出來なかつたら位が危いだらう、氣をつけよなんといふやうなわけでない、人民は治まるものとし、皇位は天壤と窮、皇統は萬世連綿とチヤンと御極あそばしての仰せごとは、實に貴い限りである、かうある以上は天孫も、其御積りで治國の大任に御當り遊ばし、臣民も此國體を大事と勵むから、萬世永久となるのである、しかも時々寶鏡を御祭あそばして、その事を新たにせられる御仕掛となつて居るのは、まことに貴ぶべき御國がらではないか。(續く)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯くして歌カルタの弊害を防ぐべし

愛國婦人會理事
三輪田女學校長　三輪田眞佐子

日本在來の歌カルタの遊びは、西洋の骨牌の如き賭博類似の者と違つて、趣味在り、高尚なる遊戲で、正月の娛樂としては必要缺く可からざる者に近くありますが、唯此の遊びが毎度問題に爲るのは、若い男女が一室に解放され混交して、夜分も晩く迄此の遊びに耽溺し、其の間に種々の弊害が生ずるので在つて、其の爲めに歌カルタは絕對に禁止すべし等の極端な議論も、往々生ずる處で在ります、而し前述の如くカルタ遊び其者は、高尚な、趣味あり、利益ある遊戲で在つて、決して非難攻擊さるべきものでなく、絕對に之れを禁止するのは、所謂角を矯めて牛を殺すもので、唯其の攻擊を被むる主要の點は遊戲の方法如何に在ると思ひます。

そこで其の方法と致しましては、

第一にカルタ遊びを爲る人の範圍を定める事で在ります。乃ち此の遊戲を爲る人の範圍を狹く減定して或は一家族の間にのみ此の遊びを爲るとか、或は若い女達の間には一切男を混同せず、とかに定めるので在ります。

第二には若し男女が合併して此の遊戲を爲る場合には、是非其の父兄なり、或は他の保護者なりが監督して、其の嚴格な注意の下に遊ばしめたなれば、やれ淫れるとか、墮落するとか謂ふ危險も無く、眞に愉快な趣味あるカルタ遊びの目的を達する事が出來やうと思ひます。

夫れから在來の百人一首に付いて、今一つ攻擊せられる處は、歌の撰擇で在つて、誰れも承知して居る如く、在來の小倉百人一首中には戀の歌とか、厭世の歌とか、隨分若い男女の讀んで利益と爲らぬ者が在りまする、之れは至當な攻擊であつて小倉百人一首の爲めに如何にも殘念な事で在ります。

それで私は讀んで社會の敎訓と成るやうな立派な歌、歌夫れ自身ばかりで無く歌の作者も亦世間から非難を受けない立派な人格を有する人達の歌を集めて、新に百人一首を作つて小倉百人一首に換えたら良いだらうと、考へました結果「新撰敎訓百首註解」と云ふ二百頁餘の書物を作りました、此の内には私が右の主義から撰擇しました百首の歌と、作者の姓名と、其の人の經歷とが掲載て在ります私の家族には本年正月の遊びにも此のカルタを用ひさせて居ります。

而るに世間からは期待したやうな注意も惹きませず、却つてこんな歌は記憶を致て居なければ、面白味が尠いので、新しく百首の歌を記憶するのは大變な手數でも在り、在來記憶に確な小倉百人一首がい丶等と排斥する人を見受けまする。成る程此の遊びは歌を記憶して居なければ、面白味が尠いので、新しい歌には夫れだけの面倒が必要で在りますが、之れから歌カルタの遊びを初めやうとする人達には、何れのカルタにても其の手數にも、面白味にも變る處は在りますまい、特に小兒達の間に置きましては、鋭い敏捷な小兒の腦中に、缺點在る小倉百人一首の歌を記憶させるよりも、比較的優ると信ずる敎訓百首を用ひ遊ばしめ、立派な歌及び歌の意味を記憶せしめ、更らに其の歌の作者の立派な性格を知らしめたならば、社會敎育上大きな効果が在らうと堅く信じます。

蓋し社會敎育上の事は一朝一夕の能くする處では在りませず、私の「敎訓百首」の如きも、急に澤山の同意者を得やうとも思ひませんが、次第に社會の人達に了知されて來て唯一人でも同意者が出來て參りましたならば、實に私の愉快な事で在り、又斯の如く隱れたる場所に於て、斯の如く心を致しますのも、眞に愛國の一端で在らうと存じます。

ところが舊臘末で在りました、水戸の步兵第二聯隊本部の陸軍中佐阪本左狂殿の書狀が參りまして、勿論未だ面識も無い御方でありますが、其中に私の「敎訓百首」をカルタに刷りまして、之れを本年正月に於ける水戸の聯隊の兵士の遊戲にしたいから承知を乞ふと申越されましたので、特に軍隊風紀上の批評が喧しい今日、之れを軍隊内で御用ひ被下つて、若い兵士諸君を樂ましめ其の精神上に多少共効果を現はす、事が出來たならば實に私の本懷で在りますから、早速承諾のみならず寧ろ光榮との返事を差上げて置きました。

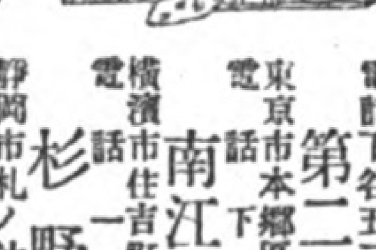
要するに歌カルタの遊びは純日本の遊戲として、昔から傳はつたもので、趣味ある遊びで御座りますから、之れは何時までも繼續し、發展させたいもので在りますが、夫れに付いては前に述べましたやうな監督と撰歌の必要が在り、世の中の父兄方が、此の點に心を注がれて、カルタ遊びを爲す時には、必らず人の範圍を定めるとか、若しくは男女合併で此の遊びをなす場合は、屹度保護者の嚴重なる監督の下に遊ばしむるとかに致されん事を希望するのであります。

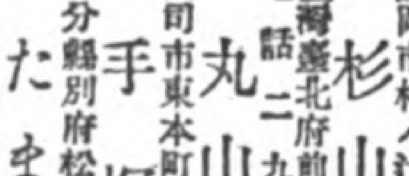
專賣特許　一森式座椅子
一箇にして安樂椅子となり又寢臺ともなり疊込めば縮少して携帶に便なり
但圖面入說明書爲御覽の上御使用下被度說明書は御申込次第進呈可仕候
尙本品は高尙優美にして年始の御進物用として至極適當なり

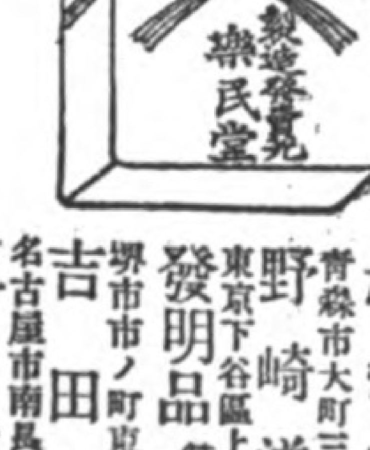
定價
壹臺　金五圓以上
一更紗布團付　壹臺　金六圓五拾錢以上
一メリンス布團付　壹臺　金七圓五拾錢以上

製造發賣元
東京市芝區下高輪町廿一番地　電話芝一〇九五番　振替貯金口座一八七六七
樂民堂

特約販賣店







東京　大阪　三越吳服店
東京市京橋區銀座四丁目十三番地　電話新橋六五六番　鈴木店　岐阜提灯　毛織物
東京市京橋區銀座四丁目十二番地　電話新橋一五六一番　神谷店　岐阜提灯　毛織物
東京市下谷區上野廣小路　電話下谷五三六番三〇四番　第二博品館三階
東京市本郷區元富士町二番地　電話下谷五七番　南江堂小立商店
橫濱市住吉町五丁目六拾八番地　電話一〇七二番　杉野洋服店
靜岡市札ノ辻町十八番地　杉山椅子店
臺灣臺北府前街三丁目　電話二九五番　丸山吳服店
門司市東本町一丁目　手塚商店
大分縣別府松原通　たまや商店
青森市大町三丁目　野崎洋物店
東京下谷區上野廣小路　第一發明品陳列會
堺市市ノ町東一丁目　吉田商店
名古屋市南長島町一丁目　五二會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

精神上の樂を樂む者は幸なり

▲百萬圓でも買られぬ樂、▲二双の屏風の筆者は誰れ、▲執事を呼ぶのは御免被る、▲榮華は一睡の夢、▲ダイヤモンドも自己の名譽を毀損する

文學博士　前田慧雲

三菱や三井は日本の富豪で在る、其の住居の壯麗美觀は到底吾々門外漢の知得せらる可き事で無いが、定めて贅を盡し美を盡したもので、吾々の住居如きとは霄壤以上の差異が在らうと想像する、而し吾々のやうな淺薄なる知識を有するものに在つても、爰に百萬圓の黄金を積むから、汝の學んだ丈の學問、包有する限りの智能の全部を擧げて賣り渡せ、そして汝は莫迦と成れと申込む人が在ると假定すると、吾々はよしや百萬圓が二百萬圓、若しくは三菱、三井の富を擧げて來たものでも言下に之れを排ける、こゝに至つて物質上の價値を精神上の樂みに比較する時は、前者は實に可憐廉價なもので、到底比較になる可きもので無いのである。

凡て吾々が事に臨んで面白いと感ずるのは、其事に趣味を有するからの事であつて、苟も何の趣味を有せずして事に當つたならば、之れより莫迦々々しく、面白く無い事はないであらう、富豪が黄金を積んで樂むのは、此の黄金を散じて稀稱の美しき品、珍しき物を買ふ、夫れに趣味を有する人も在らう、吾々は精神上の樂に趣味を有して、其の樂を得んが爲に日夜苦心慘憺する、ところが先日私の友人が或る富豪の家に行つた、そして其の室内を見ると、二双の屏風が在つて、一双には周文、一双には雪舟の畵が巧に畵かれて、先づ中々珍重な品と見られたので、試に主人公まで、これは誰の筆でしやうと尋ねて見たら、主人公の返事は斯うであつた。

「僕にも良く判りません、執事が知つて居ますから、渠れを呼んで聞きましやう」

そこで友人は、

「いや、夫れには及びません、私には略筆者の誰れと謂ふ事は判つて居ます、今執事を呼んでお聞き被下つては、私迄も餘りの物識らずに成るから、御免被りたい」

と申して歸つたさうで、之れ等は何んの爲めに金を持つて居るやら、何んの爲めに斯のやうな品物を持つて居るやら、一向に判ら無い無意味な話で在つて、又斯の如き物質上の樂を樂として、精神上の眞の樂を享受する事に苦心をせぬ者は實に憐れむべき者では無いか。

勿論一概には論ず可らざるものだが、婦人の中には斯う云ふ誤解に陷る者が多く、徒らに物質上の榮華、肉體上の滿足、幻の如き虚榮にのみ走つて、精神上の樂を享受せん事に努めず、やれ金剛石入りの黄金の指環が欲しいとか、縮珍の帶が緊めて見たいとかと苦心慘憺して居る、吾々精神上の樂を樂とする者の眼から見れば、實に滑稽極まる話で、斯の如きは自分の劣等なる價値を自己親ら社會に披露し、自分親ら己れの名譽を毀損する者、誠に淺果敢なる心の奥の奥底迄も見へ透ひて、如何にも淺間敷感ぜられるのである。

要するに物質上の樂を羨望せず、專ら精神上の樂を樂として來たならば、縱し其人が肉に素衣を着、身は茅屋に住んで居ても、其人の顏の上にも足の下にも、尙い樂の面影が現はれて、有識の士として次第に社會の尊敬を受くる事に成るであらう。

前田文學博士作

愛國婦人會教養所の趣味

（一）

愛國婦人會教養所長　文學博士　幣原坦

教養所内に於ける職員生徒

此度ゆくりなくも、教養所長を囑託せられたるについて、暇さへあらば、茲に往くとしてゐる。初めは唯戰死軍人の子弟を教養するといふ、一種の義俠的な、又慈善的な事業たるに、趣味を有してゐたのみであつた。然るに玄關の戸を二度あけ、三度あけ、度の重なるに從て、一度は一度より趣味の増すことを感ずる。

初めは「どなたですか」といつて、名を聞きに來た子供も、顏を知りあつてからは、余の姿が玄關の硝子戸の外に見えると、走り寄つて戸をあけて呉れる。又其次からしては、紅顏に笑みをたゝへて、何となく余を待つてゐたかのやうな風をしてゐる。誠に可愛きは子供である。職員室にはいると寮長も、副寮長も、會計主任も、其他の人々も、共に團欒して事務を執つてゐるのである。室こそ狹いが和氣藹然で、國家の爲に戰死して呉れた勇敢な軍人の子弟を、よく育てあげて、天晴其父の氣象に背かず、大君の御爲に、報國の誠を盡すべき人としてやりたいと同心協力しつゝあるのである。

教養所の内容を知らない人から見ると中には教養所を、孤兒院か感化院かの樣に早合點する人もないとは限らないと思ふ。尤孤兒院等も、その義俠的、慈善的なるに於ては、共に等しいであらうけれども、教養所は、其内容に於て、大に是等と違つてゐることを告白せねばならぬが、（一）教養の精神、（二）子弟の性質、（三）子弟の家庭、（四）職員の狀態、（五）職員と子弟との關係等に於て、全く孤兒院などとは比較にならないのである。早くいはゞ、教養所は一の共同寄宿舍で、而も其共同寄宿舍に、舍監ばかりではなく、學科補習を見て呉れる先生や、體育を助けて呉れる武道の先生迄が附添つてゐて下さるといふ、至極懇切便宜なる處なのである。

目下教養所内に預つてゐる生徒は四十九名で、之を二室に收容し、室内には椅子卓子を與へて、任意勉强するやうにしてある。寢室は此外に四つあつて、一人一人寢臺を與へてある。食堂及武術道場などは、更に此外たるは言を俟たない。何をいつても子供のことであるから、かかる西洋風の起居がよいか、將た又日本風の座敷に起居せしむる方が氣持がよからうかと寮内では切りに思を凝してゐるやうな次第で、遠方でこんなことを知らない家族も、一度こゝへ遊びにでも來て呉れたならば、嘸や安心をせらるゝであらうと思はれる。

子弟が其安否を故國の家族に知らしめむが爲には、ハガキなどを與へて、それ相應のことがしてある。噂によると、家族から教養所の子弟にあてゝ郵便を送ると、子弟の懷郷の念を衝動してはなるまいといふので、子弟の通學せる小學校にあてゝ、手紙を送つた人もあるかのやうに聞えるが、無論そのやうな心配はいらないので、將來の教養所はフランスの寄宿舍風でなく、イギリスの寄宿舍風にあれかしと祈つてゐるのである。

「少年は未來である」。僅か五十名や百名であるからとて、忽にすべきでない。思へば皆是忠臣のかたみである。國家の寶である。此五十、此百の少年が、未來の日本の爲に、どんな貢獻をするであらうかと思と、可愛さに涙が出る樣である。敎養所の門を潜る度毎に、何とぞ皆健全に成人して、しつかりした男になつて呉よと、口にこそいはね、心では祈つてゐる

たらちねの親よりうけて大君に
さゝげはつべき此身なりけり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

帝室の犬小屋

△日本一の幸運な犬

帝都を西に半哩。青山の舊練兵場から、武藏野式雜木林の丘續き、八千代常磐の綠濃き小松の縱の森繁る所が、代々幡村字代々木の宮内省御料地であります。古老は言ひ傳ふ、三百餘年の昔は加藤清正公の下屋敷で、所謂「代々木」と命名された亭々天に參ずる大樅樹、其の頂上に飜えたるは所謂「代々幡」、蛇の目の紋の旗一流、威武堂々天空に飜つたが、不肖の兒、肥州の名を損じてから、蛇の目は江州名代の赤備、○に橘の紋と變じ、代々木は枯れ果て、遂に維新後よりは帝室の御料地に成りたりとか。但し眞否は保證の限りではありません。池なり、岳なり、亭がある。此の地の幽清閑雅が、いたく皇后陛下の御心に適はせられ、度々御臨幸ならせられますが、其の御料地内に帝室の犬小屋が在つて、口輪を銜められる氣遣も無く、無慈悲なる犬殺しの混棒喰ふ恐れも無う、世にも幸運な犬共が、氣樂な生涯を送つて居るのです。

△小屋は獨乙式

先づ六十間四方の竹矢來が在つて、其内に犬養人と呼ばるゝ役人の住宅と、事務所とが各一棟と、二十間に幅十間の金網の柵が二つ造られて、此の柵内に幅三間長さ十八間の瓦葺の立派な小屋が、南向に建つて居り、一棟は又各五室に仕切られて、一つの室に二個の寢室が出來て居ります。柵内の殘りの土地には、細かな眞砂を深く一面に敷き積めて、塵一つ留めず、之れは犬の散歩場とある。此の犬小屋は、以前は府下内藤新宿の御苑内に在つたが、犬共が如何にも多く病氣に罹つて宜しくないのは、第一に土地が惡い、第二に小屋の構造が不完全なのに源因すると謂ふので、宮内省では主馬寮の寺池三郎さんとか云ふ人を、研究の爲め遙々獨乙國に派遣され、其結果、獨乙帝室の犬小屋を參酌して、明治の二十五年に今の地を撰び建設せられた、たいしたものだそうであります。此外に犬小屋附屬の病院が建てられて宮内省の獸醫が、一週二回健康診斷を爲された上、病犬は直ちに此處に收容される事と爲ります。記者が訪問致した時には、幸に患者は一人否一匹も居ませんでした。

△日本一の大い犬

一時は天皇陛下の御養犬が三十頭ばかりに、東宮殿下のを加へて、七十頭から居た頃もあつたが、現今は陛下のばかり十六頭收容されて居ります、主に御獵犬で、いざ御狩獵と言ふ場合には、天晴れ功名を爲す可く常に稽古が仕込まれて在ります。

ゴールドン、セッター種も居れば、純粹のイングリシュ、ポインターも居り、鳩胸の姿凛々しいフランス、ポインターも居る。伏見若宮殿下が淸國土産として御獻上に爲つた、北京産の可愛いゝ狆、滿洲産の美しく小さい赤犬等も居り、皆能く人に馴れて、追に獸ながら淸く温和な顔附きをして居るのです。故兒玉陸軍大將から獻上のロース號と名付けられた、純シベリヤ種の番犬の外、現今は概して大きな犬は居りませんが、丈は二尺四五寸も在らむかと思はるゝ雜種のフランス、ポインターの雄犬を指して、案内の犬養人は先づ「○國人にも德義が在りませんねえ」と感慨之れを久しうして後、次の如くに語り出でました。

以前帝國大學教授の一獨乙人から獻上した、獨乙種の白犬は實に大きな者で、身の丈け四尺八寸、首輪の大きさが二尺六寸、吠える聲が夜中は一里も響いたそうですが、不幸にも二年以前、胃病の爲めに病沒したそうであります。その犬の重量が三十貫から在つたとは、小牛どころか、大概な大男は洗足では在りませんか。

圖中の犬は故兒玉大將の獻納せるロース號

△一夫婦が八千圓

「先年、東宮殿下が○國の○△商會に、無比の良犬が居る事を聞こし召して、一夫婦八千圓で御買上げに爲りました。到着致しまするとなる程純粹のフランス、ポインターで、聞きしに勝る良犬でした。ところが如何でしやう、不德義な○△商會は此の犬の種を殘すまいと思つてか、雄犬の睾丸が拔き取つて在つたのです。そこで致し方無く雄犬の方にイギリス、ポインターの種をかけまして產した孫が此の犬でありますが、中々に良い犬ですが、如何せん雜種ですから殘念ながら胸の形が思ふやうに參りませんのです」

「ハイ掛りの者は御犬監督主任の溝口サンと云ふ人の下に私等二人だけです。今は頭數が尠いからであります。食料を知りたいとお言ひですか。夫れは獸醫の診察の結果お定めに成りますので品は宮内省の御用達から納めますが、表に爲つて居ますから御覽下い」。

△一日の飼料

と犬養人の差出した犬の飼料を見ましたが飼料は主に麥飯で普通白米四合に引割麥二合の割りで、合計十六頭では一日の飼料、白米が四升六合、引割麥が二升一合、馬肉が七百九十匁、黄芋六百四十匁、魚肉が六百六十匁味噌が二百十五匁、牛乳が五合、右請求候也、月日、犬養人印、掛御中とあります。

「これが夕飯です」と見せて呉れたる約三升入りの飯櫃には、引割の御飯が山のやう其傍りの鍋の中には、馬肉、魚肉、芋等を交せたる薩摩汁が、何れも我が幸運なる犬君を飼ふべく。

△陛下の御高德

畏れ多けれど終りに臨み筆を改め陛下の御高德に付き謹んで記述す可く或事を有します。讀者諸姉、前述十六頭の名の内に、アケボノ、サヽナミの名在るを如何にか見給ふ。こは正しく日露の大戰役に殊功を立てた帝國軍艦名中の特に名譽ある艦の名で在ります。而してこの犬は陛下の御愛犬中の御愛犬で、且つ又陛下の御命名に依ると微かに承り及びます。陛下が軍事に大御心を注き給ふ御高德の一端、畏れ多けれど推し奉る事を得るでは在りませんか。

又ロース號と云ふのは、故兒玉大將が旅順から連れ歸り、獻上されたもので、バイカル湖上に橇を引いて居た純シベリヤ種の番犬で在らうとの事でありますが大將の死後 陛下には勇將の紀念として永く保つべく養育に一層の注意を加へよとの御命令があり、犬養人は特に心を籠めて飼育し、現に昨年春の末つ方より此犬が一種の風土病に罹つた時にも、約三月の間、犬養人附き添ひ、遠く箱根に轉地療養を爲した程だそうであります。此犬の幸運もさる事ながら。勇將逝いて愛に幾年、聖恩獸類に及ぶと聞く地下の大將が感涙は、きつと泉と爲つて流れて居るのでありましやう。(蘆舟生)

◎市内牛込區山吹町二葉商店より發賣せる越後本場の梨果は甘味水氣共に潤澤にて風味頗る佳良なりと云ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

幼年に愛國心を起さしむるは婦人の力

護國幼年會首唱者　湯地丈雄

◎何事も時節に依て成就します、私は明治十九年の頃より是非我が國民に外寇難を忘れさせぬ樣にしたいと考へ、先づ元寇紀念碑建設を唱へて全國を說き廻ります內氣違とまで人に笑はれましたが、難なく三十七年遂に目的の紀念碑は頭上に龜山天皇を頂いて立派に成就しました初め廿八年の夏でありました私が筑前福岡の海岸に多くの幼年と共に水雷艇の來航するのを見まして幼年に水雷艇の話をして居ますと、其幼年等が「私共が一ケ月に一錢宛貯金して、幼年號と曰ふべき水雷艇が造れそうなものですねえ」と話しましたので私も實に愉快に感じまして如何にも面白い詞と、其の幼年の父兄に告げますと父兄も同意しまして早速廿名で食べたい菓子を食べないで廿錢を集め共同貯金として福岡郵便局へ預け入れました。其後三十二年に米國で幼年が醵金して巨大な軍艦を造りアメリカンボーイと名付けられたと云ふ事が我が國に傳りましたので廿人の幼年は益々勵み進んで同盟者を誘ふこと丶なり夫れが次第に各地方に推し弘まつて愈々全國一致の美果を結ぶべき勢になりました、要するに我が國民と申しましても、生れながらにして大和魂を持つものではありません、即ち其の教育の任にある御婦人の感化力に由りて日本人は幼なながらも大和魂愛國心を持つやうになるもので確かに幼年に愛國心を起さしむるは婦人の力と存ます。

◎幼年の力で八千圓、護國幼年會の事業も幼年が月に一錢宛貯へるのでありますから、婦人の兒を育てると同じ事で、晝夜間斷なく心懸けて徐々に進む斗りであります、又全國中でも教育の進步、交通機關の開けた地方では、既に一縣下で壹千五六百圓も郵便局に積んで居る所もありますが、尙ほ他事の樣に見過して夢で居る處もある樣です。今年七月の報告に由りますれば、現金八千圓餘積つたとの事で在りますが、所謂塵積んで山となるとは此事で在りまして、實に聞くだも嬉ばしいではありませんか。

◎幼年の美談と奇談、全國の幼年事業でありますから美談奇談も仲々數へきれないほどありますが、此の頃子供の手紙の中に「自分は今日迄斯樣な立派な事業を知らなかつたのが殘念だ之からお母さんに頂いた菓子代は、必らず貯金致します、」と入會して、參つたものもあります。又子供心の賴母しさは三四年前でしたが、前橋市の後藤と云ふ內の子供が母親に連れられて講話會に來まして、幼年會の事を聞いてから何より嬉しきは水雷艇が壹錢で出來ると云ふ事の身に浸みて、水雷艇の玉子は一錢だと云ふて、其後は一錢銅貨で買物を決してしないと云ふ奇談もあります。又熊本市の或る豪家の子供達は各毎月幾圓と云ふ小遣錢を浪費致して居ましたが一日毎月一錢宛共同貯金にして續けて行つたら全國では一年七拾萬圓餘集まると云ふことを耳にしましてから、入會致して貯金したいとの勤儉の心掛けが出て著しく浪費を減ずる樣になつたので、今度の水雷艇の談話は私の一家に取りて寶船の製造です、と悅んだ父兄もありました。

何にせよ、家庭の根本から愛國心を養成し、子供に貯蓄心を起させるのは、御婦人の片時もお忘れになつてはならぬ事でありますし、愛國婦人會も護國幼年會も心は同じ御國の爲めで恰も一家族の樣ですからつい話し過ぎましたが終りに本會の歌がありますから、御教育の一端に、

民に護國の念ありて、興り榮ぬ國はなし、げに亞米利加の少年は、文明開化の今の世に、油斷大敵受けまじと、造る軍艦大いさは、四萬八千四百噸、世界に双びなしと聞くアメリカボーイと名付られ、名譽輝く船おろし費用は二千餘萬弗、皆少年の力とや、我が日の本の幼年は、海の護りを怠らず、七八年の以前より、水雷艇の幼年號、造る爲めとて幼な手に、一ケ月には壹錢と、極めて小さきものなれど、協同貯金の續きなば、二十萬や三十萬、積んで重ねてさゝげたき、みさをは高く世に聞へ、盟ひを結ぶ人多く、推し弘まりて行く末はむかでの足の如くなり、みくにを護る眞心は、天神鬼神も感ずべし、其の親々も友だちも、聞くさへ嬉し新の業を、助けなさずになくべきか、々々々々

應募和歌

大口鯛二選

天　岐阜　野村なか子

埋火は二たひしろくなれるまて都かたりをきくこよひかな

評曰新年都歸りの姉妹を迎へてかたらひ草の花さく家庭如何計樂しからんか

地　下野　田村家壽子

ひえ鳥のなくこゑさむき朝庭にひはの花ちり冬はきにけり

評曰枇杷の花散る朝庭に鵯の鳴く聲けに身に染みて寒げなり

人　青森　長谷山歌子

落葉かく少女の姿さむげにて麓の村の秋暮れにけり

評曰秋暮れし麓の里に落葉かく少女の心いかにさびしからんとおぼえて

佳作

甲

とふ人もなき山里の霜の上にあさる小鳥のあとそ見えける　岡山　森島　古野子

山おろしの風に散りくる紅葉のつもるふもとのうるはしきかな　三重　日野　千鶴子

朝な／＼わかつちかひし白菊のいまをさかりと匂ふうれしさ　岡山　森島　古野子

朝餉たく料にやすらん賤の女が杉の林に落葉かくなり　芝　望月　米子

おく霜にたへぬもみちのちる道はふむも惜けきこゝちこそすれ　橫濱　鈴木　まつ子

かりのこゑ遠く聞えて渡し舟かげさやかにもてらす月かな　岡山　橫川　明子

駒なへてさつを馳せゆく御狩野の不二の裾野の草紅葉かな　京都　但村　初子

乙

有明の月にうすれてかり庵の苫の上白し霜やおくらむ　岡山　森島　古野子

むらすゞめかゝしにとまり千代／＼とゆたけき秋をよびかはしけり　三重　日野　千鶴子

賤が家のやれし籬に幾千世のあきをちぎりて匂ふ白菊　岡山　森島　古野子

流れゆく音のみ高し谷川の水見えぬまで落葉積りて　芝　望月　米子

澄み渡る月をかすめてゆく雁の影もうつろふ琵琶の湖　芝　同　人

何ならぬわが庭なれど一本のもみぢに秋のいろぞみえける　岡山　橫川　明子

おのつから落ろなみたも氷るかと思ふばかりにさゆる月かな　橫濱　鈴木　まつ子

ちりのこる木の葉をなほもゆるさしとせきたつるごとこがらしのふく　岩代　西山　佐保子

我庭をかざりしかへて今朝見れば梢あらはにちるぞさびしき　岩代　同　人

けふもまた時雨ひまなしたびにゐて病みます君やいかにわびしき　京都　白百合子

集ひくる人のたもともかをるまでみその菊は花さかりなり　備中　林　秀子

よべ見つる夢なつかしき今朝はしもしぐれ靜かに軒のはせなに　李花子

書をよむ聲は靜かにひゞきつゝしぐれは外に音さびにける　同　人

朝日かげ霜おく野べにかゞやきてあさるすゞめの聲ぞきこゆる　橫濱　後閑　らく子

石垣をおほひしつたのもみぢばの夕日になほも色まさりけり　橫濱　同　人

夕日さす里の垣根のうすもみぢ木立の中に色のよきかな　しのぶ

山寺のかれのひゞきもおのづからくれゆく秋はさびしかりけり　同　人

朝日さすほどもあらしにかきくらし時雨ふるなり小山田の里　岡山　西村　長子

大み代のめぐみのつゆやかゝりけんのやまの草木いろつきにけり　同　人

めでゝみし萩の白露夕紅葉昨日にかはる今朝の露かな　呉市　竹入　勇子

野に山にたゝかひ習ふ軍人つるぎとる手を時雨ぬらせり　三重　日野　千鶴子

風さむみ尾花ふしける夕まくれ月の宿りは何處なるらん　神奈川　足立原　登久子

照る頃はにしきと見えしもみぢさへ散れば同しくあくたなりけり　芝　土師　利根子

かせさわぐ田のもの案山子ゆみをれてあられまじりにふるしぐれかな　函館　五十嵐　やそ子

懸賞募集！

「愛國婦人」は本年から大に其の內容を改めまして盛んに發展の途を講ずる筈で在りますが讀者諸姉にも大に御盡力を願ひたく左の規定によつて、和歌、俳句、短文、家庭笑話を募集致します、萬望讀者諸姉よく規定に御注意被下つてドシ／＼御應募の程を祈ります

▲和歌（春季雜詠）　佐々木信綱大人選
▲俳句（同）　內藤鳴雪宗匠選
▲短文　編輯同人選
▲家庭笑話　同

◎原稿は愛國婦人發行所懸賞係宛の事。
◎和歌と俳句は一人十句限り、用紙は端書に限ります。
◎短文は百八十字以內、家庭笑話は短いのを望みます、用紙は御隨意です、
◎締切りは五日と二十日和歌と俳句の入選者には些少ながら左の賞品を差上げます、

▲天賞　寫眞ブック一冊
▲地賞　同
▲人賞　繪端書ハサミ一冊

賞品は掲載後一週間以內に發送致します
短文と家庭笑話には他の賞品を差上げます

懸賞募集！

三月五日發行第百九十六號發表懸賞和歌俳句は、題を「桃」と定め、締切は二月二十日と致します。この分へも盛んに御應募の程を願ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ARUNDEL HOTEL,
Victoria Embankment, London, W. C.

當館は地下電車乗場に接近し日英博覧會場へ數分の間に達する事を得、第一流の劇場に近く寢室壹百、圖書室、喫烟室、球突場等完備す眺望は雅なり。英國倫敦 アランデルホテル

CHARING CROSS HOTEL,
Strand, London,
"Banqueting, London."

本館は倫敦第一流の旅館にして市の中央に在り鐵道及電車に近く遊覽見物に至便寢室三百五十、電話各室に通す、圖書室、喫烟室、遊戯室、海水浴室等完備す。英國倫敦 チヤリング、クロス、ホテル

MARBLE ARCH HOTEL,
Hyde Park, London, W.

當旅館は著名なるハイズ公園に接近せるか故に眺望雅絶且つ健康上尤も好し。劇場其他名所古蹟見物に至便なり。室七拾五尤も美觀を極む。旅客送迎の爲め馬車を備ふ 英國倫敦 マーブル、アーチ、ホテル

QUEEN'S HOTEL,
Upper Norwood, London, S. E.

本館は日英大博覧會場に接近せる大旅館にして見物に至便なり宿泊料低廉、食事中奏樂す各室清潔にして美觀を極む 英國倫敦 アッパーノルウード街、クヰンスホテル

SALISBURY HOTEL,
Salisbury Square, Fleet St., London.
電信宛名 "Salisbury Hotel, London."

快適なる談話室、應接室、圖書室其他旅客を慰籍する設備は全し
一日の宿泊料（食料（其他一切）約五圓以上
當旅館より五分間にして劇場其他著名なる場所に達することを得
英國倫敦サリスベリー、スコーア、フリート街
サリスブリーホテル
電話三八一九番（セントラル）
電話七三一一番（シチー）

世界の新聞雜誌廣告取次は日本では唯一の神戸
東洋廣告取次會社

愛國帯發賣謹告

●愛國帯ハ愛國婦人會ノ御指定ニ基キ意匠考案シタモノデアリマス
●地質綿七々子九寸巾二丈一尺ヅカイ更紗形本染一本ニ付定價貳圓拾錢デ差上マス
●見本御入用之節ハ御申込次第差上マス、但各支部ニハ見本ガアリマスカラ最寄御一覽願マス
●御注文ノ節ハ最寄郵便局デ振替用紙御請求被下マシタラ面倒デナク御注文ガ出來マスシ定價以外ニ費用ヲ要セズ尤モ御便利デアリマス

發賣元 京都市西堀川通リ出水上、ゑちごや **小林呉服店** 振替口座大阪六六七七番

取次所 東京市麹町區飯田町愛國婦人會内 **愛國婦人發行所** 振替口座東京一一三八番

！新春發行の三珍書！

丹石齋文雅著
諸流盆石指南
▲家庭中の最上品且面白き道樂は盆石を第一とす本書丁寧說明素人も一讀直に作るを得
▲盆石の心得ある人にも珍奇なる千種萬別の諸流實景を一々繪書にて說明變化自在の指南書也
六拾錢（郵税八錢）

高島平三郎先生序文 中村秋人君著
家庭用 兒童涙と鞭
本書は著者が多大の勞力と苦心とを以て斯界名家を歷訪し研究調査の結果最も一般父兄の參考となるべき事項數百を蒐集詳述したるもの文章平易家庭必讀の名著也
中版一冊美本 丗五錢（郵税六錢）

東京京橋南紺屋町 **實業之日本社** 振替貯金參貳六番

美！美！美！
眞に理想的の美顔料として目下世界到る處の貴婦人令嬢間に盛んに賞用せられつゝある佛國シモン會社製美顔用
シモンクレーム
は必ず色を白くし、きめを細かに艶を出し而かも顔や手足のあれし時、髭剃りし後、ひゞ霜やけ等に對して他に卓越せる無比の美顔劑なり
日本代理店 横濱市七十番 エー、ハイム商會
（各地化粧品及小間物店にあり）

謹賀新年

愛國下駄
上等レエザ表鬼藤形
- 最上 金五拾錢 地出來桐無東天付
- 上 金四拾五錢 桐無新天付
- 並 金參拾五錢 臺仙台又東下駄フランテン付

愛國草履
- 最上 金八拾錢 本鐵診
- 上 金七拾錢 東天友染
- 並 金五拾五錢 フランス天

●今回發賣ノ愛國草履ハ最上フランス天レエザ表本ゴム裏チ用ヒ候ヘバ體裁ノ美ハ申スニ及バズ耐久力ハ今迄ノ比ニアラズ價格ハ無比ノ廉ナリ
●愛國下駄ハ日淺サキニ係ラズ非常ノ高評チ博シ近衞公爵邸其他諸大家ヨリノ御用命チ辱フシ當年迄二千足ノ賣捌キチ生ジ候ニ付直ニ愛國婦人會ヘ寄附仕候是全ク諸賢ノ御引立ト感泣仕候就テハ本年ハ尚一層勉強仕御厚意ニ報ヒ且ツハ愛國婦人會ヘモ充分ノ寄附モ仕度ニ付倍舊ノ御愛顧偏ニ願上候

東京市麹町區飯田町三ノ二九段下飯田橋通リ 履物商 老舗 **高田屋友太郎**

産科婦人科専門 診察毎日午前 入院隨時
淺草區左衞門河岸 電話下谷一〇二八 **岩田病院**

○院長 ドクトル **木村順吉**
京橋丗間堀一丁目角（電話新橋二六七〇番）
婦人科産科 木村病院

●毛髪の脱落、禿頭病、頭部瘙癢症等に苦しめらるゝ方は試みに此の頭髪洗滌液
ペトロール、ハーン
を使用せられよ本品は兩三回の御使用に依つて毛髪を増殖し健全にし、フケを去り拔毛を止め且つ脱毛を再生せしむる眞に絶妙の効果あるものなり
代價（小瓶一圓廿五錢 大瓶二圓）
PÉTROLE HAHN POUR LES CHEVEUX
日本代理店 横濱山下町七十番 エー、ハイム商會

岩佐病院
日本橋區濱町二丁目廿三番地（電話浪花六七九番）
診察時間 自午前九時至正十二時
- 內科婦人科 院主 岩佐純
- 內科 院長 ドクトル 岩佐新
- 外科 醫學士 山村正雄
- 産科婦人科 醫學士 西村漸
- 腦病脊髓病 醫學博士 土田卯三郎

◎産科婦人科 **櫻井克巳**
芝、明船町十九虎門外 電話新橋三三二四番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

院長診察月水金木前松田醫學士診察火土前駒者施診火木前入院診斷隨時應需松田林兩副長は目下當院に在勤
電本八八八(病院用) 八九八(住宅用)
東京神田區駿河臺鈴木町二(御茶水橋畔)
東洋内科醫院
院長 醫學士 高田畊安
神奈川縣高座郡茅ヶ崎村濱(停車場所在)
南湖院

婦人畫報増刊
東京婦人風俗
定價二十五錢 郵稅金二錢

▼現今東京婦人風俗は收めて本誌中にあり
▼貴婦人令孃より市中一般の婦人、勞働者、山の手、下町に至る東京の婦人を知らんとせば本誌に依らざるべからず
▼特に一大懸賞として小兒發育順序の寫眞を添へたり是最も興趣深きもの
▼附錄花使は蕉園女史筆
▼讀物例に依つて頗豐富

東京社　飯田町四丁目　電話番町三三九　振替口座二八八

胃病良藥
太田胃散

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話(特)本局六七三番 電話本局四九八番
定期預金　六ヶ月 年四分五厘
當座預金　百圓に付日歩 五厘
特別當座預金　同日歩 九厘

資本金千八百萬圓
東京京橋區木挽町
株式會社 十五銀行
電話新橋 三三〇番 一五三〇番 三一九三番
同日本橋區新乘物町
同 日本橋支店
電話浪花 一九〇一番 三二七四番 三五〇八番
一定期預金　六ヶ月以上年五分
一當座預金　日歩七厘以下
一特別當座預金　同 壹錢

東京勸業博覽會二等賞受領
都足袋 粹乃友
都足袋は外觀優美にして踵に縫目なく衣服の裾を傷ふことなく製作に最も注意を拂へり故に其の履工合尤もよろし
(拾足以上は送料當店持)
東京日本橋室町三丁目
龜屋 宮内清兵衛
電話本局一七一二番

腦神經精神病科
東京龜戸町電話浪花二五五二
加命堂腦病院

最新流行柄及勅題模様の
半ゑりは
神田 赤のきんに限る
本店 神田表神保町壹番 電話本局二八五三
出店 新橋博品館階上

當季最新流行
御半ゑり幷に
新年勅題模様出來品種々
ゑり善
東京日本橋區堺町通ふきや町
電話浪花 千二百七十一番

此足袋ハ軍人戰死者遺族並ニ廢兵家族ノ手ニ成レルモノデス直段が安クテ丈夫デアリマス御同情ノ方ハ多少ニ拘ラズ御求メヲ願マス
足袋販賣
東京麹町區飯田町九段坂下公園 愛國婦人會内
定價
上紺木綿石底 十文三十錢
上白木綿石底 十文廿七錢
白キヤラコ雲才底 十文廿七錢
(此外一文毎ニ二錢安ク又雲才底ハ一錢宛安シ小細ノ定價ハ愛國婦人ノ第百八十八號ニアリ)
東京支部授産場
電話番町五一〇 一、七四五　郵便振替口座一五、一二四

改良婦人もゝ引

色合　赤、白、桃色、鼠、
定價　中長 九十五錢　大長 一圓五錢
送料代金引換小包二足迄金拾七錢

昨冬非常の好評を博せる本品は最精撰のネル地製にして腰卷を附隨しあれば御召工合のよき事は在來の婦人股引の比にあらず尚本年更らに改良を加へ股引と腰卷の取りはずしができ別々に洗濯する便宜あり婦人方冬の股引には無くこれが一等なり

ねびへしらず本舗
佃屋商店
東京市日本橋區ふきや町(電浪一三三四八番)

婦人科産科 榊病院
院長 醫學博士 榊順次郎 (婦人科産科 毎日午前診察)
副 醫學士 久保徳太郎 (婦人科的外科 外國留學中)
副 醫學士 田代謹二 (婦人生殖器病 泌尿器病及内科一般 火木土午後診察)
●施診火木土午後一時至二時
麹町三番町三三(電話番町三九五)

支店神田和泉橋通松永町十八

專賣特許名和式テンピ

嘗つて婦人世界誌上に於て弦齋夫人の料理談中其の効用を稱せられたる和洋兼用テンピなり
大三圓中二圓五十錢小一圓九十錢
東京日本橋區蠣殼町二ノ十五
特許竈 据風呂
名和商店
電浪一一七七 振替口座一〇二五四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱
神田三河町一ノ一九　博報堂
京橋宗十郎町一七　正路喜社
日本橋蛎殻町三ノ十一　大興社
京橋區南紺屋町一　一星社
神田須田町廿七　金蘭社
京橋區　廣告社

風味ありのみ
越後名産

●御進物用最も宜し

定價
並等品一個金五錢
上等品同金八錢
優等品同金十二錢
特等品同金十五錢
箱詰入金一圓二十錢以上
御進物用金二圓二十錢迄
（外數種あり）

越後名産梨果專門
東京市牛込區山吹町十番地
卸小賣　一葉商店
（江戸川電車終點矢來交番の中央）
●市内は一圓以上御需めの方へは御一報次第直ちに配達可致候

最上醬油
キハク印
一香
名譽大賞牌受領
於亞路易博覽會

醸造元　千葉縣野田町　茂木七郎右衛門
（信號𠆢キハク印）

キハク印
醬油は味がよくて調理にかなつて居ると云ふことは皆さん一般の評判ですど一か其あぢのよくてそして經濟であると云ふことを御ためし願ます

東京支店　日本橋區小網町三丁目　中野長兵衛
電話浪花五七七四

嫁入道具
京都実川堺町
宮崎タンス
電一八二〇番

望英語出教授
身元確實にして私立大學在學中のもの學校の餘暇英語教師を望む御用の方は當發行所内德富苑御照會を乞ふ

皆様（みなさま）
今日もまた
丈夫で元氣で
心から愉快に
「暮す樣」
「ゼム」を今すぐ召上れ

▼全國各藥店にあり

内科一般
午前宅診　午後往診
板垣亭
東京神田美土代町三丁目十七番地
電話本局貳千九百七十番

徳富健次郎著
小説　寄生木
第十版發賣
菊判千百餘頁
定價
特装二圓
並製一圓五十錢
郵税各十二錢

小説寄生木は一昨年の秋二十八歳で死んだ東北農家出身の陸軍士官が生涯の物語である千百餘頁の長文字何を語るか。多情多恨の若き生命がさま〴〵の運命に弄ばれて人性の奥底から叫び出した一篇無韻の長恨歌。此れが小説寄生木である。

發兌　東京京橋尾張町　振替東五五三番　警醒社書店

美術袋物類
金屬煙管類
帶〆、指輪、簪、
手釦、胸針、襟止
金銀茶具盃類
ハイカラ銀器類
（何處迄も日本趣味を保持し目新らしき種々有之候）
…（袋物仕立並に金銀細工致候）…

◎ヒスイ
◎ハイカラ銀細工品
應用金屬裝身具

新橋際銀座通
佐竹商店
（電新千三十二）

小兒病診療
往診午後　宅診午前
淺草區新福井町二（瓦町電車停留場際）
醫學士　内田愼太郎
（電話下谷七一八）

御扇子
愛國婦人會御用達
京都寺町五條下ル東側
御影堂
持阿彌

小兒科專門
西川醫院
本所緑町一丁目卅一
南へわり下水際
電話浪花三〇七三番

タカヂアスターゼ

●不消化の徵候（醫學）度一定効力不變なり
博士谷口長雄氏曰く『澱粉不消化に因する疾病の重なる徵候は胃の膨満、疼痛、溜飲、腸内瓦斯蓄積、便秘若くは下痢等にして甚しく營養障害を來す是等の疾病に對しタカヂアスターゼの頗る有効なるを信ず』と●
是れ普通製法の幾多模造品と異り特長なり眞正なるタカヂアスターゼを得んには必ず高峰博士のタカヂアスターゼと指定せられよ粉末錠劑の二種あり各地に於ける信用ある藥舗にて取次販賣す●

●高峰博士發見の製法に從ふタカヂアスターゼは每瓶强
●醫學大家の報告を收載せる『タカヂアスターゼ說明書』あり發賣元東京日本橋室町三丁目三共合資會社へ申込まるれば無代郵送す

AIKOKU FUJIN

(THE PATRIOTIC LADIES).

A Fortnightly Home Journal.
Circulates in all parts of Japan; Official Organ of the Japan Ladies Patriotic Society.

Head Office: Iida Machi, Kojimachi-ku, Tokyo.

All communications respecting European and American Aertisements should be addressed to

THE FAR EASTERN ADVERTISING AGENCY
(Toyo Kokoku Toritsugi Kaisha),
38, Naka Machi, Kobe, Japan.
(or London Office: 57, Craven House, Kingsway, .WC.)

東京市麹町區錢瓶町（常磐橋内）
日本興業銀行
電話本局　二、二八〇〇番　三、三〇〇番　四一一番
（特）一〇三七番　一〇二番
資本金壹千七百五拾萬圓

營業科目
一擔保附社債に關する信託業務
一有價證券其他貴重品等の保護預
一有價證券の賣買元利金の支拂及び取立
一地方債、社債、株式等の發行募集事務
一各種の信託事務
一國債證券、地方債證券、社債券、株券の擔保貸付及手形の割引
一國債證券、地方債證券、社債券の募集又は引受
一法律規定に依り設定したる財團を抵當とする貸付
一定期預金、特別當座預金

明治四十三年一月廿日發行（毎月五日廿日二回）（定價金三錢五厘一ケ月七錢郵税不要）發行兼印刷人　山澤俊夫
廣告料一行金六拾錢）編輯人　永持德一
發行所　東京麹町區飯田町　愛國婦人發行所
印刷所　東京市牛込區榎町　日清印刷株式會社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會記事

本部記事

◎新年祝賀會

夜をこめて降りしきれる雪のあした、天には晴れたる日の、春かとばかり輝き、地には夜來の雪降りつみて白妙の砂と麗しき十二日の午後二時より九段階行社に於て例年の如く新年祝賀會は開かれぬ、期に先き立ち來會されしは來賓岩倉公爵夫人をはじめ岡部會長以下理事顧問評議員各支部長幹事等總員八十七名と算せられ餘興鳥居喜登子の筑紫琵琶新作伊藤公及び桂小南の落語忠義の正夢は別室に於て演せられ右終りて後三時半より食堂開かれ岡部會長より新年の挨拶あり一同食事の箸を取れる最中松林伯鶴の講談赤穗義士の一節あり和氣靄々の裡に散會せるは午後四時半なりき當日來會の總員を分別すれば本部職員會長以下三十四名支部職員四十名來賓九名にして左記の如し

會長　岡部子爵夫人

理事　鍋島侯爵夫人、三輪田眞佐子、棚橋絢子、

評議員　井伊子爵夫人、本莊子爵夫人、關男爵夫人、丹羽前子爵夫人、黑木伯爵夫人、原田男爵夫人、尾崎男爵夫人、三井壽天子、保利久士、古市幸子、有島幸子、渡邊いね子、高木鎌子、仁杉歌子、三井榮子、渡邊源子、三井五十子、大久保榮子、柳谷千代子、龜井眞洲子、高木男爵夫人松村男爵母堂、高橋壽口子、押川愛子諸氏

東京支部　鹽谷ます子、栗塚靜子、秋間爲子、木村常野、村田歌子、榊實子、森友ます子、丸山喜美子、齋藤勝子、横幕武良子、羽田三緒子、青木てつ子、馬島園子、酒井李喜子、白神茂子、中野仙子、小川梶子、田村彰子、長原なか子、印東貞子、磯部峙子、

顧問　波多野男爵、德久恒範、山田春三諸氏

來賓　岩倉公爵夫人、鳥居子爵、湯本武比古、桑門典、河島北海道、島田埼玉の二支部長、高村群馬支部主事岡本岡山支部幹事、大島光利諸氏

事務所職員　馬屋事務總長、松井事務副長代理等諸氏

◎顧問囑託其他補職

本部顧問　正三位男爵　周布公平氏
同　從三位男爵　波多野敬直氏
同　從三位　德久恒範氏
同　從三位　江木千之氏
同　正四位　關諶英氏
同　正四位　山田春三氏
致養所長　從六位文學博士　幣原坦氏
愛國婦人發行所主事兼務　八田一精氏

◎有功章及賞狀

臺灣支部
支部長　大島富子氏
同幹事　河東田セイ子氏

功績に依り特別徽章贈與
福島支部元主事　松本正理氏

功績に依り一等有功章贈與
神奈川支部幹事　織壁マル子氏
鳥取支部幹事部
元顧問　藤岡直藏氏
顧問　水谷豐一氏
同　友成正氏
同　井上孝道子
同　井上廉治氏

功績に依り二等有功章贈與
神奈川支部
幹事　川島ツル子氏
同　今澤クニ子氏
同　大塚桂子氏
同　太田ハル子氏
鳥取支部
幹事　山田琴氏
同　近藤かや子氏
同　入澤こぬい氏
同　澤田いつ氏
事務員　大石信恕氏
同　岩本保治氏
同　笠田竹雄氏
同　濱田竹次郎氏
事務員　村山金治氏
同　奥林弘道氏
同　荒川辰太郎氏
福島支部
幹事　和田くに子氏
參與　平田富貴氏
事務員　柴田友兄氏
秋田支部
幹事　一ノ關フサ子氏
新潟支部
事務員　田中千里氏

功績に依り三等有功章贈與
東京支部特別會員　山崎キク子氏

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與
芝區白金臺町一丁目十四番地　小花萬次氏

金七十圓寄附に依り三等有功章贈與

◎本部收支豫算

明治四十三年度收入豫算書

一　貳拾六萬貳百五拾圓

内　譯

金貳拾壹萬參千貳百圓　會費步合收入
但四十三年末會員八拾貳萬人と見積り終身會員特別通常會員と不納會員を通じ平均壹人六拾五錢と見込其百分の四拾

金四萬七千五拾圓　雜收入
但預金利子貳萬六千四百五拾圓株券利子貳萬四百貳拾四圓徽章再度代其他の雜收入金百七拾六圓と見込

外に
一金貳百八拾圓　贊助金步合基本金組入
但贊助員新募百分の四拾

說　明

一　四十二年度會費一人平均豫算壹人金七拾錢なりしも漸次終身會員增加するを以て壹人平均金六拾五錢とせり
二　寄附金は基本金に組入るへきものなるも見込立たさるを以て豫算外とす

明治四十三年度支出豫算書

一金七千五百參拾圓　事務費

内　譯

一金四千八百六圓　諸給
金千貳百八拾四圓　部長二名報酬賞與共
金貳千七百九拾圓　事務員雇員七名分給料賞與共
金七百貳拾四圓　筆耕二名小使二名給仕一名同斷

一金參百五拾圓　旅費
但各支部會計檢查及事務視察等の出張旅費

一金八百九拾參圓　借地料
但一ヶ年分地代の內東京支部家賃を差引たる高

一金百參拾五圓　辨當料
但一ヶ年分休日出務當直夜業等辨當料の內東京支部の分を除きたる高

一金百七拾圓　廣告料
但機關新聞廣告料一ヶ月拾圓宛と別に金五拾圓を見込

一金參百九拾六圓　郵便電信費

一金百貳拾圓　紙筆墨費
但平均壹ヶ月金拾圓の見込

一金六拾圓　器具費
但平均壹ヶ月金五圓の見込

一金百八拾圓　營繕費
但平均壹ヶ月金拾五圓の割

一金百五拾六圓　車代
但平均壹ヶ月金拾參圓の割

一金貳百六拾四圓　諸雜費
但新炭茶烟火其他の雜費平均一ヶ月金貳拾貳圓の割

本豫算中增減を生するときは諸給と旅費と並に辨當料以下各自互に流用支辨することを得

說　明

本年度の豫算を以て四十二年度豫算に對照するときは旅費の科目を新設し金參百五拾圓と借地代に於て金參百五拾七圓五拾錢營繕費に金六拾圓諸雜費に金參拾六圓計金八百參圓五拾錢增加したるも諸給に於て金七百參拾八圓と辨當料金拾壹圓五拾錢筆紙墨費金貳拾四圓計金七百七拾參圓五拾錢を減したれは差引金參拾圓の增加に止まる

一金參萬千四百圓　事業費

内　譯

一千八百八拾圓　印刷費

内

金參百七拾五圓　協約狀贊助證五萬枚　十枚金七錢五厘
金九拾圓　紅組交付書貳萬枚　十枚金四錢五厘
金五百圓　第一種主旨書五萬冊　十冊金拾錢
金九拾六圓　第二種主旨書六萬枚　十枚金壹錢六厘
金百拾貳圓五拾錢　賞狀謝狀用紙壹萬五千枚　十枚金七錢五厘
金六拾五圓　囑託解囑用紙壹萬枚　十枚金六錢五厘
金參百貳拾五圓　贈與用紙五萬枚　十枚金六錢五厘
金參百拾六圓五拾錢　以上ノ外臨時印刷物代

一金四千九百圓　徽章製作費

内

金五百圓　特別會員章五千個　壹個金拾錢
金參千六百圓　通常會員章四萬個　壹個金九錢
金拾四圓　贊助員章貳百個　壹個金七錢
金四百貳拾圓　有功章千貳百個　壹個平均金參拾五錢
金參百六拾圓　紅組貳萬個　拾個金拾八錢
金六圓　特別徽章代

一金七千五百圓　總會費
但第九回總會の諸費

一五千五百圓　支部總會臨場費
但各支部總會に際し總裁殿下御台臨又は職員臨場諸費

一金貳千貳百圓　擴張諸費
但遊說員報酬旅費其他擴張に關する諸費

一金千參百圓　接待費
但會務に關し接待上に要する諸費

一金貳千參百圓　慰勞贈與金
但會務に特別功勞あるもの其他へ金品贈與に充つ

一金六百六十圓　運送費
但徽章印刷物運搬に關する費用

一金百六拾圓　雜費
但會務に關し事業上に要する諸雜費

一金五千圓　豫備金
但臨時に生したる特別の費用に充つるものとす

本豫算中各科目に於て增減を生するときは互に流用支辨することを得

說　明

本年度豫算は會員四萬五千人の增加を見込且從來擴張諸費に屬したる費用を支部總會臨場費、擴張諸費、接待費、慰勞贈與の四科目に分ち且雜費の目を設く而して前年度事業費豫算總額金貳萬九千五拾圓に比すれは金貳千參百五拾圓の增加となる

一金拾貳萬九千四百九十圓　救護費

内　譯

一八萬圓　定期救護金
但前年の通各支部へ配當の分

一金千五百圓　臨時救護金
但水火災其他罹災遺族幷癈兵の救護に充つ

一金壹萬五千圓　特別救護金
但本年中支部總會へ御台臨の際遺族癈兵の下賜金に充つ

一金壹萬六千五百圓　救養所費
但本豫算の細別別冊明細書の通り

一壹萬六千四百九拾圓　豫備金
但事業補助金其他臨時に生したる費用に充つ

本豫算中增減を生するときは互に流用支辨することを得

說　明

本年度豫算を以て前年度豫算金拾參萬千九百五拾圓に比すれは金貳千四百六拾圓の減額となる

總計金拾六萬八千四百貳拾圓
但此金高四十二年度收入豫算總額の內金拾萬圓を基本金に組込み殘額を本年度に支出豫算に充てたるものなり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎寄附

東京府豐多摩郡落合村伊藤富次郎氏は今回養母ソデ氏死亡に付き供養の爲め高田村根生院住職那須宥高氏の紹介を以て救養所事業費の中に金參拾圓を寄附せられたり

麹町區飯田町三丁目二番地高田屋友太郎氏は金貳拾圓を愛國婦人會發行所經費中に寄附せられたり

支部記事

◎兵庫支部 本月十日神戸市中山手通七丁目山手倶樂部に於て支部直轄の職員新年宴會を開催したりしが服部知事其他縣廳高等官來臨せられ多數の參會者あり餘興等の催ありて頗る盛會なりき

◎靜岡支部 榛原郡萱山村第一回總會は同村婦人會發會式を兼ね客年十二月十九日萱山小學校に於て擧行せり當日は稻見同郡幹事部顧問、伊藤榛原中學校教諭櫻村同郡視學等臨席、午前十一時三十分開會、松尾萱山小學校長は戊申詔書捧讀、萱沼同村長開會の主旨を述べ會員の與望により同村婦人會長に松尾村長を指名し同會長の挨拶幹事部顧問の祝辭あり終りに會員總代増田はな子氏の答辭にて午後零時半閉會晝餐の宴に移れり、當日天氣快晴來會者百八十名非常なる盛會なりき、尚宴後講話會を開き郡長其他來賓等の講演及蓄音器の餘興あり午後四時半閉會せり、因に前述講話の時間が長時に亘りたるに拘はらず多數の來會者は聊かも倦怠の色なく靜粛に聽問せられたるは以て同村會員の態度を卜知すべし、尚同郡幹事部長稻見はつ子氏は同會費中に金若干を寄贈せられたり、

◎北海道支部 根室幹事部内花咲郡齒舞委員部會員第一回總會は同村華岬村小學校内に於て開催せられたるが來會者百五十名、齋藤委員開會の辭を述べ次で君ヶ代の合唱裡に兩總裁宮殿下御肖像を開扉し最敬禮の後總裁宮殿下の御諭旨を奉讀せり、河島支部長の祝詞は安食顧問代讀し幹事部長の答辭あり、尚別項の規約實行の事を議決し種々の餘興に移り各自歡を盡し、散會したるが同地方部民中本會の主義並に其施設事業等の眞相を誤り甚だしきは彼の採るに足らざる新聞紙上の言を信じ而も種々の謠說を流布しつゝある今日なるを以て同地方の會員諸氏は熱心に之等の誤解を說破し且つ會員の增募を計らんが爲め新紙上に廣告して多數有志の出席を勸誘する等大に奮勵努力せられたるより總會當日に於て新に八名の新入會者を得今後益々會務發展の兆ありと

支部長祝詞

愛國婦人會北海道支部根室幹事部内齒舞委員部は會務彌々擧りて茲に第一回會員總會を開くに至りたるは深く歡喜する所なり

今や我國光は宇内に發揚し國家を富岳の安きに居らしむるは固より今上陛下の御稜威に因ると雖も亦軍人に待つこと多しと云はざるべからず而して是等戰死軍人の遺族廢兵は救護すべき公の制度あるも尚之を厚くし益々軍人をして後顧の憂なからしめん事を期するは實に本會の目的なり冀くば職員及會員諸子深く本會の旨意を體し今後益々協同一致して會務發展に勉められんことを

明治四十二年十二月五日

愛國婦人會北海道支部長 河島榮子

幹事部長祝詞

本日齒舞委員部愛國婦人會員の第一回總會を擧げらるゝに至りしは春子の大に欣喜とする所なり

抑々本會は日露の役に際し其業績を發揮したるは夙に世人の認むる處なりと雖も今や戰後の急務は廢兵遺族救護の經營に存す乃ち本會員たるもの同心協力して前途尚會員の增募と會費の集收とに努められ益々本會の活動に資し以て總裁宮妃殿下の御諭旨に副ひ奉らんことを式に臨み希望を陳して祝意に代ふ

根室幹事部長 安食春子

▽愛國婦人會北海道支部根室幹部齒舞委員部規約

第一條 會員は常に本會の主旨を重じ相互の親睦を圖り同志を勸誘して會員の增募に努むるものとす

第二條 會員は戊申詔書の御趣旨に對し奉り常に左の各項を遵守し之が勵行に努め孝子良妻賢母として衆人の模範たるを期するものとす

一、誠實を主とし品行を愼み分度を守り以て家政を齊ふること

二、會則を守り會費の納付を怠らざること

第三條 會員は左の場合には會員章を佩用し可成參列すること

一、學校等に於て行ふべき儀式

二、軍隊及軍人の送迎並會員の會合

三、諸姉の式場及會員相互慶弔の立合

第四條 會員中篤志又は善行の者あるときは委員より幹事に諮問の上幹事部長に申告するものとす

第五條 會員中敗德の行爲ありたるときは相當德義上の制裁を加へ尚之に應ぜざるときは委員は幹事の諮問の上除名處分方を幹事部長に申告するものとす

◎熊本支部 舊臘十二月十四日赤十字社熊本支部に於て例會を催したりが川路支部長を始め幹事會員の五十餘名の出席者あり例に依り河内山主事開會を報じ次に南木大憲師及本派本願寺布教師津梁照圓師の講話並に竹下本縣技師の炭酸瓦斯に關する實驗談ありて最後に又河内山主事より會務の報告及本年一月開催せらるべき總會に關する協議等をなしたりしが當日は四十二年の納會をも兼たるを以て出席者に對しては茶菓の饗應等ありて頗る盛況を極め午後五時散會したり

◎福井支部 三方郡幹事部に於ては事業擴張の目的を以て十二月七日第一回總會を開催せり、幹事部長先づ令旨を捧讀し次に支部長の告辭あり幹事長答辭を述べ事務員の事務報告、佐々木顧問、山田支部副長、羽田三方警察署長の講話、祝詞等あり續いて幹事玉井よし子の功績に對し三等有功章、青池はつ子、市野かね子、青木ゆう子、武長しず子の諸氏に對て謝狀を支部長より授與せられ、最後に能狂言、淨瑠璃等の餘興あり大に盛會なりき因に當日は特に郡内の廢兵及戰病死者の遺族を招待したるが福井支部長よりは各自へ菓子料として金子一封づゝを贈與せられ併せて懇篤なる慰藉の辭を述べられしかば何れも思召の篤きに感泣せざるものなかりき

支部長の告辭

愛國婦人會三方郡幹事部はけふしも第一回會員總會を開かるゝに至りぬ何の慶びか之にしかむ惟ふに當幹事部は是まで會員の數左まで多からざりしが熱誠なる職員たちが夙夜孜々として增募に努められしと同情に厚き諸姉の奮ひ進みて加入せられし結果その總數も頓に增加し今や五百餘名となりしはいとも芽出たき極みなり抑々本會は全國に亘れる我國唯一の婦人團體にして其目的とするところは軍人の遺族を救護し廢兵を慰藉するにありされば此主旨にしたがひ我等同胞は倍々進みて御國の爲め本會の發達に努めざるべからず、幸ひに當幹事部の如き斯る盛況を見るに至りしは洵に感喜に堪へざるなり、猶これに安んせず愈々進みて擴張を圖り本會の基礎を固め國母陛下の懿旨に副ひ奉らんことを偏へに望み侍るになん爰に切なる思ひを述べて告辭とす

明治四十二年十二月七日

愛國婦人會福井支部長 中村千代子

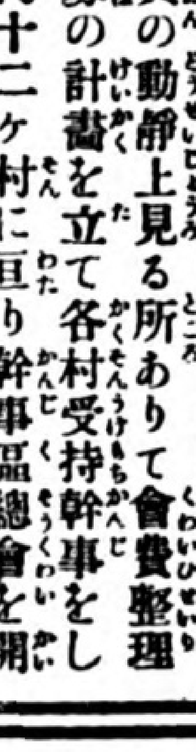
幹事長の答辭

愛國婦人會福井支部三方郡幹事部第一回總會を開くに當り支部長閣下の臨場を辱ふし且懇篤なる高諭を賜ふ、當幹事部の光榮何ものか之に過ぎん自今各會員諸子と共に益々本會の擴張を圖り以て今日の高諭に酬ひんことを期す謹みて答ふ

愛國婦人會福井支部
三方郡幹事部長 佐々木登美子

◎愛媛支部 喜多郡幹事部に於ては舊臘末月十二日長濱町公會堂に於て第二回總會を開催、來會者約二百名、餘興には奏琴手踊等ありて非常の盛會なりき、因に記す同部は現在會員千六百六十三人にして本年二月以來新入會員二十七名を出だし尚當總會の爲め相當增加したるのみならず部内會員は會旨の普及に勉め救護慰問に注意する等頗る着實有望の發達をなしつゝありと

◎山口支部 玖珂郡幹事部長阿部ゆか子氏は會員の動靜上見る所ありて會費整理會員增募の計畫を立て各村受持幹事をして支部内十二ケ村に亘り幹事區總會を開催せしめ其都度山根主事に事務員を附隨せしめ列席せしめられたり、因に同支部の在來會員數は五百八十五名なりしに此計畫の結果新募集會員四十八名を得るに至れり、



Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN